

瀬戸内圏研究 シンポジウム

瀬戸内住民
の健康
医療・福祉

日時 平成19年 **7月5日** (木)
13:30~17:00

場所 **サンポートホール高松**
第1小ホール

主催：国立大学法人香川大学

後援：総務省四国総合通信局、香川県、高松市、NHK 高松放送局、KSB 瀬戸内海放送、
四国新聞社、山陽新聞社、JGN II 四国連絡協議会、香川県医師会、
香川県歯科医師会、香川県薬剤師会、香川県看護協会

第 I 部 基調講演

「健康関連指標から見た瀬戸内住民の健康の実態～香川県を主として～」

香川大学アドミッションセンター

教授

真鍋 芳樹

略 歴

昭和30年生まれ 香川県出身
昭和56年……九州工業大学大学院工学研究科修了
昭和60年……徳島大学大学院医学研究科修了
昭和60年……香川医科大学医学部医学科助手
平成 8年……香川医科大学医学部看護学科講師
平成17年……香川大学アドミッションセンター教授
現在に至る

報告概要

老人医療費の状況について、中四国各県の特徴、ならびに香川県の各市町の推移とその特徴を分析しました。

人口と死亡数、介護データから香川県各市町の男女別の健康寿命を算出し、他の指標との関連を分析しました。

香川県の年齢調整死亡率で、男女ともに腎不全による死亡率の改善が見られず好ましくない状況にあります。国保のレセプトを分析すると、腎不全の医療費も急増していました。

国保のレセプトを用いて生涯医療費を推計したところ、男性で約2,100万円、女性で約2,200万円でした。主要疾病の生涯医療費の推計も行いました。

「生涯の健康を守る遠隔医療ネットワークの実現」

香川大学医学部附属病院

教授

原 量宏

略 歴

昭和18年生まれ 東京都出身
昭和45年……東京大学医学部医学科卒業
昭和45年……東京大学医学部産科婦人科学教室入局
昭和55年……香川医科大学母子科学講座助教授
昭和55年～57年……ドイツ連邦共和国ハイデルベルグ大学留学
平成12年……香川医科大学附属病院医療情報部教授
現在に至る

報告概要

政府は世界最先端のIT国家を目指し「e-Japan戦略」、それに続く「IT新改革戦略」策定しています。その中で医療は常に先導的分野とされ、遠隔医療と電子カルテネットワークの全国へ普及が最重要課題とされています。それに先立ち香川県では、1999年に周産期電子カルテネットワークが、2003年に画期的な「かがわ遠隔医療ネットワーク（K-MIX）」がスタートしており、いまや香川県は、医療ITのトップランナーとして全国から注目されています。本シンポジウムでは、これまでの香川県の医療ITの取り組み紹介するとともに、総務省の進める超高速ネットワーク（JGN II）を介して、長崎県と北海道からもライブでの講演を予定しています。

「離島医療の現状と遠隔医療への期待」

長崎県立大学

教授

立石 憲彦氏



略 歴

昭和36年生まれ 愛媛県出身
昭和60年……愛媛大学医学部卒業
平成 2年……愛媛大学大学院医学研究科修了
平成 3年……愛媛大学医学部生理学助手
平成12年……愛媛大学医学部 医療情報部助教授
平成18年……長崎県立大学教授
現在に至る

報告概要

長崎の離島では医師不足が深刻です。医師を確保する仕組みも機能していますが、十分とは言えません。医療をサポートする仕組みとして放射線画像の遠隔診断や遠隔医療相談システムが整備されていますが、医師の負担を大幅に改善するものとはなっていません。医師の努力によって地域医療が支えられているのが現状です。長崎における離島医療の現状を通じて、離島に求められる医療を提案します。

第Ⅱ部 パネルディスカッション

「瀬戸内住民の健康とその社会支援」

パネリスト



香川県健康福祉部長
細松 英正氏

略 歴

昭和28年生まれ
昭和52年………東京大学法学部卒業
昭和52年………香川県採用
平成13年………生活環境部環境局 環境・土地政策課長
平成14年………総務部法務文書課長
平成15年………政策部次長
平成17年………総務部防災局長
平成19年………健康福祉部長
現在に至る



四国新聞社編集委員室室長
戸城 武史氏

略 歴

昭和27年生まれ 東京都出身
昭和50年………日本大学芸術学部放送学科脚本コース卒業

香川大学医学部
教 授
大西 美智恵

略 歴

愛媛県出身
昭和53年………聖路加看護大学衛生看護学科卒業
平成12年………愛媛大学大学院法文学部人文科学専攻修了
平成 2年………聖カタリナ女子大学社会福祉学部助手
平成 4年………聖カタリナ女子大学社会福祉学部講師
平成 8年………愛媛大学医学部看護学科講師
平成 9年………愛媛大学医学部看護学科助教授
平成17年………香川大学医学部看護学科教授
現在に至る



札幌医科大学
教 授
辰巳 治之氏

略 歴

昭和31年生まれ 大阪府出身
昭和59年………大阪大学大学院医学部
昭和59年………大阪大学 医学部助手 解剖学
平成 元年………札幌医科大学 助教授 解剖学
平成 7年………札幌医科大学 教授 解剖学
平成18年より……札幌医科大学 学長補佐 標本館長
平成19年より……札幌医科大学第二解剖学講座 兼任教授
現在に至る

香川大学アドミッションセンター

教 授 真鍋 芳樹

コーディネーター：香川大学医学部附属病院

教 授 原 量宏

スケジュール

13:30~13:40 開催挨拶 一井真比古 香川大学長
13:40~13:45 来賓挨拶 森下 立昭氏 香川県医師会会長

第I部 基調講演

13:50~14:20 「健康関連指標から見た瀬戸内住民の健康の実態～香川県を主として～」
真鍋 芳樹 香川大学アドミッションセンター 教授

14:20~15:20 「生涯の健康を守る遠隔医療ネットワークの実現」
原 量宏 香川大学医学部附属病院 教授

「離島医療の現状と遠隔医療への期待」
立石 憲彦氏 長崎県立大学 教授(JGN IIにより参加)

20分間休憩

第II部 パネルディスカッション

15:40~16:55 「瀬戸内住民の健康とその社会支援」
パネリスト 細松 英正氏 香川県健康福祉部長
戸城 武史氏 四国新聞社編集委員室 室長
大西美智恵 香川大学医学部 教授
辰巳 治之氏 札幌医科大学 教授(JGN IIにより参加)
真鍋 芳樹 香川大学アドミッションセンター 教授
コーディネーター 原 量宏 香川大学医学部附属病院 教授

16:55~17:00 閉会挨拶 前田 肇 香川大学理事(学術担当)

司会 青木 早苗 香川大学研究企画センター 教授

MEMO